

# 中野区 脱炭素 ロードマップ

## 概要版

「中野区脱炭素ロードマップ」は、「第4次中野区環境基本計画」及び「中野区ゼロカーボンシティ宣言」で定めた二酸化炭素排出削減の目標達成に向けて、区の実施内容や削減効果、実施の方向性等を示すものです。

### 第4次中野区環境基本計画で定めた削減目標

令和12年度（2030年度）において、二酸化炭素排出量を平成25年度（2013年度）比46%削減

### 中野区ゼロカーボンシティ宣言

2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ

### 中野区脱炭素ロードマップ

二酸化炭素排出削減の目標達成に向けた、区の実施内容や削減効果、実施の方向性等

令和6年（2024年）6月

中野区

# 1 現状と課題

## 中野区の概要

- 総人口は337,377人（令和6年1月1日現在）で、単身世帯の割合が高い（約6割）
- 2050年の将来人口は、現状よりやや多い34.7万人に増加する見込み
- 住宅の建て方は、共同住宅が77.5%、一戸建が19.7%、居住形態は持ち家が32.3%、借家が61.1%となっている（中野区統計書 令和5年（2023年））
- 中野区緑の実態調査（平成28年度実施）における緑被率は16.14%となっている

## 二酸化炭素排出量・エネルギー消費量の現状

### 〔二酸化炭素排出量〕

- 令和2年度（2020年度）の排出量は866千t-CO<sub>2</sub>（2013年度から18.2%減少）
- 平成25年度（2013年度）以降、減少傾向にある
- 民生家庭部門と民生業務部門の排出量が全体の約8割を占めている

### 〔エネルギー消費量〕

- 令和2年度（2020年度）の排出量は9,622TJ（2013年度から9.3%減少）
- 平成29年度（2017年度）以降は横ばいとなっている

## 主な部門の特性

## アンケートで把握した区民・事業者の意識・行動

### 民生家庭部門

- 世帯当たりのエネルギー用途は、照明・家電製品、給湯、暖房が全体の98%を占めている

- どの年代でも、省エネの行動は重要な取組であるという意識があるが、年代が高い方が実行している割合が高い
- 住宅の断熱化、給湯器の高効率化は進んでいない
- ZEH、再エネ電気プランの利用などの新しい取組は浸透していない

### 民生業務部門

- 二酸化炭素排出量に占める割合は、事務所ビル・飲食店が76%を占めている
- 従業員が100人未満の事業所が99%を占めている

- 省エネの行動、廃棄物の抑制等の対策が重要だと考えられており、特に従業員が300人以上の事業所は省エネの行動、廃棄物の抑制に高い関心を示している
- 建物・設備の対策、再エネ利用に一定の関心はあるが、コスト、情報や人材の少なさが課題となっている

### 運輸部門

- 排出量の73%が自動車に起因している
- 自動車保有台数は減少傾向であり、乗用車は微減している

- 区民の日常的な移動手段は公共交通・自転車・徒歩となっている
- 40代から60代の自家用車所有率が高く、30代ではレンタカーやカーシェアリングの利用が多くなっている
- ZEVの導入意向は、区民、事業者とも低い傾向にある

## 課題

まちづくりの機会を捉えた対策促進

運輸部門の排出量の7割を占める  
乗用車からの排出削減

建物・設備等のハードに着目した対策と  
再エネ利用の促進

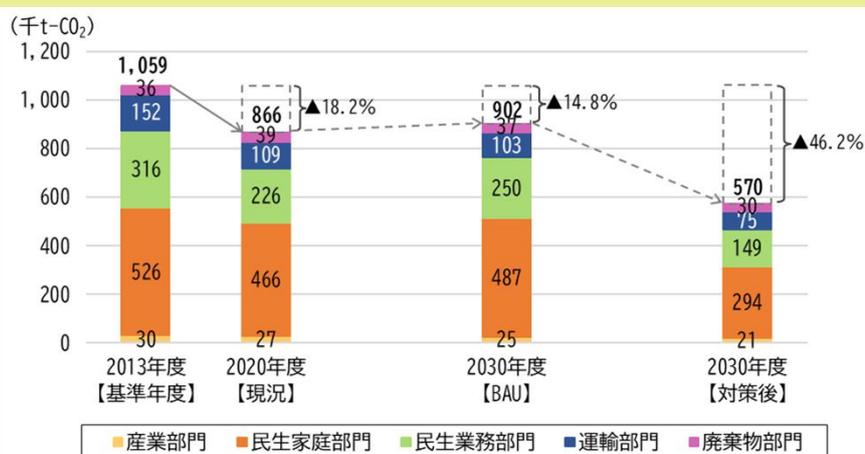
区民・事業者の意識醸成、行動促進

## 2 二酸化炭素排出削減の道筋

本ロードマップは、「第4次中野区環境基本計画」で定めた次の削減目標の実現を目指します。

2050年に二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に向け  
令和12年度(2030年度)において  
二酸化炭素排出量を  
平成25年度(2013年度)比46%削減を目指します。

### 目標達成に必要な削減量



今後新たな対策を実施せず、予測される人口や建物、自動車交通等の変動だけ考慮した場合（BAU：現状すう勢ケース）に想定される令和12年度（2030年度）の中野区の二酸化炭素排出量は、902千t-CO<sub>2</sub>です。

これに、次の①、②を見込んだ排出量は、604千t-CO<sub>2</sub>（2013年度比▲42.9%）となります。

① 発電量に占める再生可能エネルギーの割合が高まることで、1 kWhの電力を使用する際に排出される二酸化炭素排出量(kg)（電力排出係数）が減少することによる効果。

② 実行の確実性が高い国及び東京都の施策（※）の効果

※法律に基づく新築住宅・建築物の省エネルギー化、産業界による供給目標設定がなされている次世代自動車の普及・燃費改善、東京都の条例による中小規模新築建物への太陽光発電設置

2030年度の目標（排出量 572 千t-CO<sub>2</sub>）を達成するためには、さらに 32 千t-CO<sub>2</sub> を区の実施によって削減する必要があります。

現時点で算定可能な区の実施による削減効果の見込みは 34 千t-CO<sub>2</sub> であり、排出量は 570 千t-CO<sub>2</sub> となることから、目標を達成する見込みです。

# 3 脱炭素ロードマップ全体イメージ



2013 2023 2024 2025 2030 2035 2040 2050

中野区の取組			2050年に向けた取組の方向性	ゼロカーボンシティ実現
1	まちづくりの全体方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーの効率的利用の推進</li> <li>みどりを活かしたゆとりある環境の形成</li> <li>環境負荷の少ない交通環境の形成</li> </ul>		到達目標
分野 の 柱 ご と の 施 策 と 取 組	2 (1) まちづくり・都市計画	環境形成型のまちづくり (個別の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>地区計画、任意のまちづくり計画への脱炭素の取組の位置付け</li> <li>中野駅周辺まちづくりにおける対策促進</li> <li>西武新宿線沿線まちづくりにおける対策促進</li> </ul>		まちづくりを通じた脱炭素化の取組の定着
	(2) 都市基盤	道路、公園等の都市基盤における対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>公園灯のLED化(2027年度まで)</li> <li>道路整備における低炭素材料利用の推進</li> <li>道路・公園等における熱環境緩和</li> <li>道路・公園等における緑化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バーチャルパワープラント(VPP)、ダイヤモンド・リスポンス(DR)など、分散型エネルギーを活用、最適化する技術の導入</li> <li>ペロブスカイト太陽光電池等の新たな技術の導入</li> </ul>	
	(3) 建物・設備	省エネ・再生エネルギー利用拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入支援</li> <li>再生可能エネルギー電源の調達に関する情報提供</li> <li>事業所における対策に関する情報提供と経営改善に係る相談</li> <li>SDG s (環境系) 融資制度の検討・実施</li> </ul>		
	(4) 移動	移動手段の脱炭素化 <ul style="list-style-type: none"> <li>建築物省エネ法の円滑な運用・基準の段階的引き上げ</li> <li>建物の断熱設備の導入支援</li> <li>公共交通の利用促進</li> <li>自転車利用環境の整備</li> <li>EV等への切り替えを見据えた情報提供や支援策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ZEB・ZEHの普及</li> <li>コージェネレーションシステムの普及</li> <li>MaaSの実装</li> <li>新たなエネルギーの活用</li> </ul>	
	(5) 区民・事業者の行動促進	行動変容の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>講座・イベント等の開催</li> <li>脱炭素に貢献した取組に対する表彰</li> <li>国・都の取組の情報提供</li> <li>児童生徒ができる取組の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギー電力への切替促進</li> </ul>	
	(6) 区の率先行動	持続可能な資源利用 (3Rの推進) <ul style="list-style-type: none"> <li>3R推進の普及啓発</li> <li>食品ロスの削減</li> <li>資源回収の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>区有施設のZEB・ZEH化</li> <li>区有施設の再生可能エネルギー電力への切替</li> <li>庁有車の電気自動車等への切替</li> <li>区有施設のエネルギー管理</li> <li>カーボン・オフセットの推進</li> <li>木材利用の推進</li> <li>環境マネジメントシステムの運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会経済動向を踏まえた脱炭素施策の展開</li> </ul>
				再エネ最大限活用 全ての建物のZEH・ZEB化 全ての自動車のZEV化
				脱炭素型のライフスタイル、ビジネススタイルの定着 持続可能な資源循環の実現
区民・事業者の取組			2050年に向けた取組の方向性	
区民	<ul style="list-style-type: none"> <li>住まい</li> <li>移動</li> <li>消費・食に関する取組</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ZEH、ZEH-Mへの建替、住替</li> <li>ZEVへの買替</li> </ul>	区役所の活動のカーボンニュートラル化
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物・設備・エネルギー</li> <li>自動車利用</li> <li>事業活動全般</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自社のZEB化</li> <li>循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行</li> </ul>	

# 4 令和12年度(2030年度)の削減目標の達成に向けた区の取組

令和12年度(2030年度)の削減目標達成に向け、31の取組を進めます。

取組の実行により、二酸化炭素排出量 34,717t-CO<sub>2</sub> の削減を見込みます(※)。

※二酸化炭素排出削減に直接的に結びつき、算定可能な取組を抽出して算定

## まちづくりの全体方針

今後の区内のまちづくりに関わるあらゆる取組を通じて、環境配慮・脱炭素化の視点を加え、次の3つの方針に沿った取組について検討し、合意形成を図りながら、実行していきます。

- 方針1 エネルギーの効率的利用の推進
- 方針2 みどりを活かしたゆとりある環境の形成
- 方針3 環境負荷の少ない交通環境の形成

## 1 まちづくり・都市計画

全体方針を踏まえ、現在進めているまちづくりにおいて脱炭素化の取組を進めるとともに、今後のまちづくりの計画等に際して脱炭素の推進の視点を盛り込み、環境配慮の施策誘導を図ります。

削減効果の見込み

- 取組1 地区計画、任意のまちづくり計画への脱炭素の取組の位置付け
- 取組2 中野駅周辺まちづくりにおける対策促進 4,649 t-CO<sub>2</sub>
- 取組3 西武新宿線沿線まちづくりにおける対策促進

## 2 都市基盤

道路、公園等の都市基盤の整備に当たり、二酸化炭素排出量の少ない設備機器・材料の導入を進めます。また、建築物の省エネルギー効果を高める、緑化や舗装面の改善による熱環境緩和を進めます。

削減効果の見込み

- 取組4 公園灯のLED化 102 t-CO<sub>2</sub>
- 取組5 道路整備における低炭素材料利用の推進
- 取組6 道路・公園等における熱環境緩和
- 取組7 道路・公園等における緑化の推進 424 t-CO<sub>2</sub>

## 3 建物・設備

住宅、事業所などの個々の建物単位で、建物の高断熱化、設備機器の高効率化により徹底した省エネルギー化に取り組むとともに、再生可能エネルギーへの転換を促進します。

削減効果の見込み

- 取組8 建築物再生可能エネルギー利用促進区域の設定
- 取組9 省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入支援 1,862 t-CO<sub>2</sub>
- 取組10 再生可能エネルギー電源の調達に関する情報提供 11,433 t-CO<sub>2</sub>
- 取組11 事業所における対策に関する情報提供と経営改善に係る相談
- 取組12 SDGs(環境系)融資制度の検討・実施
- 取組13 建築物省エネ法の円滑な運用・基準の段階的引き上げ
- 取組14 建物の断熱設備の導入支援 19 t-CO<sub>2</sub>

## 4 移動

徒歩による移動がしやすい歩きたくなるまちづくりを進めながら、環境負荷の少ない交通手段の利用促進、走行時に二酸化炭素を排出しないEV等の普及促進を進め、人の移動に伴い発生する二酸化炭素排出量の削減につなげていきます。

取組 15 ▶ 公共交通の利用促進

取組 16 ▶ 自転車利用環境の整備

取組 17 ▶ EV等への切替を見据えた情報提供や支援策の検討

## 5 区民・事業者の行動促進

区民一人ひとり、個々の事業者による、省エネルギー化、再生可能エネルギーの導入、持続可能な資源利用など、暮らし、事業活動の脱炭素化に向けた取組を促進します。

削減効果の見込み

取組 18 ▶ 講座・イベント等の開催

取組 19 ▶ 脱炭素に貢献した取組に対する表彰

取組 20 ▶ 国・都の取組の情報提供

取組 21 ▶ 児童・生徒が実践できる取組の推進

取組 22 ▶ 3R推進の普及啓発

取組 23 ▶ 食品ロスの削減

取組 24 ▶ 資源回収の促進

7,630 t-CO<sub>2</sub>

789 t-CO<sub>2</sub>

6,704 t-CO<sub>2</sub>

## 6 区の率先行動

区有施設のZEB化、再生可能エネルギー電力への切替、EV等への切替等、脱炭素化の取組を区役所において率先して進めます。

削減効果の見込み

取組 25 ▶ 区有施設のZEB・ZEH化

取組 26 ▶ 区有施設の再生可能エネルギー電力への切替

取組 27 ▶ 庁有車の電気自動車等への切替

取組 28 ▶ 区有施設のエネルギー管理

取組 29 ▶ カーボン・オフセットの推進

取組 30 ▶ 木材利用の推進

取組 31 ▶ 環境マネジメントシステムの運用

479 t-CO<sub>2</sub>

452 t-CO<sub>2</sub>

22 t-CO<sub>2</sub>

152 t-CO<sub>2</sub>

## 5 進捗管理

本ロードマップに示した取組は、中野区環境基本計画とあわせて進捗管理を行うとともに、社会動向等も注視しながら実行していきます。

取組名	削減量 (t-CO2)						
	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
公園灯のLED化	23	49	75	102	102	102	102
道路・公園等における緑化の推進	405	408	412	415	419	421	424
省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入支援	266	532	798	1,064	1,330	1,596	1,862
建物の断熱設備の導入支援	3	5	8	11	14	16	19
食品ロスの削減	113	225	338	451	564	676	789
資源回収の促進	958	1,915	2,873	3,831	4,789	5,746	6,704
カーボン・オフセットの推進	152	152	152	152	152	152	152

## 6 2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた区の取組の方向性

2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、次のテーマを課題とし、引き続き検討を進めていきます。

徹底した省エネルギーを実現する技術の活用促進

再生可能エネルギーの主力電源化に向けた取組の促進

新たなエネルギー（水素、カーボンリサイクル燃料等）の普及

デジタル化によるエネルギー利用の効率化

持続可能な消費・生産及び循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行

## 7 区民の取組

	住まい	移動	消費・食
すぐできること	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギーに取り組む</li> <li>省エネルギー性能の高い照明、家電製品を選ぶ</li> <li>再エネ電気プランに契約を切り替える</li> <li>緑のカーテン、よしずなどを利用して窓への日射を防ぐ など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコドライブを行う</li> <li>近場の移動は、徒歩、自転車、公共交通を利用する</li> </ul> <p><b>【自動車通勤をしている場合】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通勤を公共交通機関に切り替える</li> <li>テレワークを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイバッグ、マイボトル、マイ箸、マイストロー等を使う</li> <li>詰め替え製品など環境に配慮した製品を選ぶ</li> <li>“もの”を大切に、長く使う</li> <li>食品ロスを減らす</li> <li>資源とごみの分別を徹底する</li> <li>フリマ、シェアリングサービスを活用する など</li> </ul>
中長期的に取り組むこと	<p><b>【持ち家】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ診断を受ける</li> <li>自宅に太陽光パネル、蓄電池を設置する</li> <li>給湯器をヒートポンプ式給湯器に更新する</li> <li>自宅を断熱リフォームする など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーシェアリングを活用する</li> <li>自動車を購入、買い替える際は、ZEVを選択する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活を実現する</li> </ul>
	<p><b>【持ち家】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自宅を建て替える際にZEHにする</li> </ul> <p><b>【賃貸】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ZEH、ZEH-Mに住み替える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅の太陽光発電や、再エネ電気プランを利用して、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車の充電を再生可能エネルギーで行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品の製造から廃棄に至る過程の二酸化炭素排出量を意識して脱炭素型の製品・サービスを選ぶ</li> </ul>

## 8 事業者の取組

	建物・設備・エネルギー	自動車利用	事業活動全般
すぐできること	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の電気、ガスの使用状況を見える化する</li> <li>日常的に省エネルギーに取り組む</li> <li>LED照明、省エネルギー型の機器を導入する</li> <li>再エネ電気プランに契約を切り替える</li> <li>使い捨てプラスチック製品・包装類の使用を抑制する</li> <li>窓や壁面への直射日光を遮蔽する工夫をする など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車を使用する際は、エコドライブを実践する</li> <li>日常の移動は、できるだけ徒歩、自転車、公共交通を利用する</li> <li>テレワークを推奨し通勤の移動を減らす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の電気、ガスの使用状況、光熱費を見える化する【再掲】</li> <li>従業員の環境意識向上に努める</li> <li>廃棄物を削減する</li> </ul>
中長期的に取り組むこと	<p><b>【自社建物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギー診断を受診する</li> <li>高効率空調機を導入する</li> <li>自社建物の高断熱化を図る</li> <li>太陽光発電システム、太陽熱利用システムなど、脱炭素エネルギーを導入する</li> <li>BEMS（エネルギー管理機器）を導入する</li> </ul> <p><b>【テナント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境性能の高い物件を選択する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社有車、リース車をZEVにする</li> <li>自動車の運行ルートを工夫し、走行距離を減らす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境マネジメントシステムを運用する</li> <li>自社のエネルギー使用量、二酸化炭素排出量等の情報を開示し、削減に向けた取組を進める</li> </ul>
	<p><b>【自社建物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自宅を建て替える際にZEBにする</li> </ul> <p><b>【テナント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ZEBの物件を選択する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同配送の実施など、輸配送の効率化を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品の製造から廃棄に至る過程の二酸化炭素排出量の削減を進める</li> </ul>

